

プレスリリース

石井友人「地へ、地の上空へ、水晶宮の内へ、外へ」展

2022年8月27日（土） - 10月1日（土）

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第四秀和ビル7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

東京画廊+BTAP では8月27日（土）より、石井友人個展「地へ、地の上空へ、水晶宮の内へ、外へ」を開催いたします。石井にとって弊ギャラリーでの初個展となる本展では、<Sub Anaglyph>と題した新作6点を展示する予定です。

<Sub Anaglyph>は、3D アナグリフのように青と赤の二色で構成されます。キャンバスには観葉植物のある風景が描かれ、さらに UV プリンターで出力した天地反転したイメージが、その上に不鮮明に吹き付けられています。画面上には植木鉢をおしつけたエンボスが施されており、植物の接地面とそれを介した垂直性が示唆されます。

本シリーズは、商業ビルやリゾート施設の窓際に置かれた観葉植物を、ビルの内側・外側から撮影した写真がもとになっています。対象物がガラスの反射像と透過像に分割されて提示されることによって、「見る」という行為は意識化され、鏡像の間の関係として捉え直されることとなります。

石井は、人工と自然、赤と青、水平性と垂直性、反射と透過など、相反する経験を多層的な画面として構成し、私たちの視覚認識や重力による身体感覚を攪乱させます。

石井友人は 1981 年東京生まれ。2006 年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。2017 年、TheLaforêt Summer Vacation Project（ギッファ）滞在。「大和コレクション VII」（沖縄県立博物館・美術館、沖縄、2015 年）、「『複合回路』認識の境界」（Gallery αM、東京、2011 年）、「15years」（WAKOWORKS OF ART、東京、2008 年）「Portrait Session」（広島市現代美術館、広島、2007 年）。主な受賞歴に、2012 年、武蔵野美術大学パリ賞、2005 年、ホルベインスカラシップ。東京画廊+BTAP では、2013 年から開催している展覧会「新朦朧主義」に、第二回（2014 年）以降出品しています。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

プレス問い合わせ e-mail: info@tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-土) 12:00-18:00

休廊日 | 日、月、祝

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

www.tokyo-gallery.com



<Sub Anaglyph (chefrera)> (2021) 油彩、アクリル、モデリングペースト、キャンバス 194 × 112 cm

石井友人

- 1981 東京都生まれ
2006 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了

個展

- 2019 「享楽平面」 CAPSULE (東京)
2017 「未来の家」 Maki Fine Arts (東京)
2011 「『複合回路』 認識の境界」 Gallery αM (東京)

グループ展

- 2022 「touch the light」 MITSUKOSHI CONTEMPORARY GALLERY (東京)
αM+ vol.2 「わたしの穴 美術の穴 | 地底人とミラーレス・ミラー」
パート2 「ミラーレス・ミラー」 gallery αM (東京)
2021 「遠くの休息場」 南相木村山荘 (長野)
2020 「アルファにしてオメガ」 瓜割石庭公園 (山形)
「それぞれの山水」 駒込倉庫 (東京)
2019 引込線サテライト 「距離と伝達」 gallery N, (愛知)
2018 「SURVIBIA!!」 デジタルハリウッド大学 (東京)
「反動」 SpaceTGC (東京)
「新朦朧主義 5」 北京清華大学美術館 (北京、中国)
2017 「ファルマコン：医療とエコロジーによる芸術的感化」
The Terminal Kyoto (京都)
「ニュー・フラット・フィールド」 デジタルハリウッド大学 (東京)
2016 「グレーター台北ビエンナーレ」 NTUA (台北、台湾)
「新朦朧主義 4」 798 芸術工場・BTAP (北京、中国)
「アダチデルタ」 アダチデルタ (東京)
2015 「引込線 2015」 旧所沢市立第2学校給食センター (東京)
「わたしの穴 美術の穴」 Space23° C (東京)
「新朦朧主義 2」 Red Tory Museum of Contemporary Art,
Guangzhou (広州、中国)
「大和コレクション VII」 沖縄県立博物館・美術館 (沖縄)
「Innocence」 Temple du goût (ナント、フランス)
2014 「パーブルーム大学 II」 熊本市現代美術館 (熊本)

- 「新朦朧主義 2」 798 芸術工場・BTAP(北京、中国)
「パーブルーム大学」 YAMASHITABILDG(愛知)
「夏と画家」 アラタニウラノ(東京)
- 2013 「Biennial Open Exhibition」 NN Contemporary
(ノーザンプトン、イギリス)
「ILYAURA The Window」 The Window(パリ、フランス)
「DAY(s) Dreaming」 59Rivoli(パリ、フランス)
「SOMANYIMAGES」 Sprout Curation(東京)
- 2012 「Pandemonium」 XYZ Collective(東京)
- 2011 「4人展」 シュウゴアーツ(東京)
- 2008 「15years」 WAKO WORKS OF ART(東京)
- 2007 「Portrait Session@NADiff」 NADiff(東京)
「Portrait Session」 広島市現代美術館(広島)
- 2006 「二人展」 WAKO WORKS OF ART(東京)
「修了制作展」 武蔵野美術大学(東京)
- 2005 「from/to #3」 WAKO WORKS OF ART(東京)
- 2004 「卒業制作展」 武蔵野美術大学(東京)

受賞暦

- 2012 武蔵野美術大学パリ賞
2005 第20回ホルベインスカラシッパ奨学生

アーティスト・イン・レジデンス

- 2017 The Laforêt Summer Vacation Project (ギッファ)
2012 Cité International des Arts (パリ)

キュレーション・アートディレクション

- 2022 αM+ vol.2 「わたしの穴 美術の穴 | 地底人とミラーレス・ミラー」
パート2 「ミラーレス・ミラー」 gallery αM (東京)
- 2019 「わたしの穴 美術の穴」 2019年企画、キュレーション、
Space23°C・CAPSULE・clinic
- 2018 「わたしの穴 21世紀の瘡蓋」、キュレーション、Space23°C
- 2017 「ニュー・フラット・フィールド」、ディレクション、
デジタルハリウッド大学

- 2016 「アダチデルタ」、ディレクション、アダチデルタ
2012 「Pandemonium」、キュレーション、XYZ collective

アート・プロジェクト

- 2019 「わたしの穴 21世紀の瘡蓋」 展覧会冊子、出版
2016 「わたしの穴 美術の穴」 展覧会冊子、出版
2013 「ILYAURA The Window」 ニュイブランシュ共同プロジェクト（パリ）
「アート・アソシエーション・イリオラ」 設立（パリ）

作品テキスト

- 2019 「〈わたし〉の腫れぼったい手」 蜘蛛と箒、勝俣涼（美術批評家）
2018 「まぼろしの在処」 美術手帖、中尾拓哉（アートラボはしもと、学芸員）
2014 「Parasophia au Monde」 パラ人、大久保美樹
（アート・アソシエーション・イリオラ）
2012 「イメージの振り子」 Pandemonium 冊子、森啓輔
（武蔵野美術大学芸術文化学科研究室、助手）
2011 「イメージのパンデモニウム」 α M プロジェクト、田中正之
（武蔵野美術大学図書館長）
「アート解剖学」 京都新聞、中井康之（国立国際美術館、主任研究員）
「ノのトポグラフィー」 美術手帳、榊田倫広（国立近代美術館、研究員）
2005 「ギャラリー・レビュー」 美術手帳、高嶋雄一郎（世田谷美術館、
学芸員）